

令和7年度花巻市立図書館協議会臨時会 会議録

1 開催日時

令和7年5月13日（火） 午後2時～午後3時45分

2 開催場所

花巻市立花巻図書館 会議室

3 出席者

（1）委員（7名）

浅沼清智委員、高橋和也委員、内村悦子委員、熊谷恵委員、坂本知彌委員、
菅原元委員、白岩拓樹委員

（2）事務局（9名）

菅野生涯学習部長、鈴木花巻図書館長、高橋花巻図書館副館長、
伊藤大迫図書館長、辻村石鳥谷図書館長、伊藤東和図書館長、
高橋新花巻図書館計画室次長、幅下新花巻図書館計画室主査、
市川新花巻図書館計画室主任専門員

4 欠席者

5名（小田島圭委員、堀合範子委員、中里美香委員、高野橋加子委員、
佐藤三恵子委員）

5 傍聴人

4名

6 議題等（議事録）

1 開会（高橋花巻図書館副館長）

2 あいさつ（坂本会長）

皆様お忙しいところお集まりいただきまして、急なご案内にも関わらずご参加
いただきましてありがとうございます。

大詰めに來てるようなところです。現在、市民説明会が各地で行われたり、パ
ブリックコメントの作業が行われております。そしてさらにこの会議で意見を集

約して、そして反映させたものを作ろうっていう市のお考えでございます。

私、ここへ来る時に、86歳になる女性ですけれども、「どこに行くの」っていうから、「図書館の集まりに行ってくるんだよ」っていう話をしたら、「俺の生きてる間にできるべか」って言われました。そういえば市川さんとは長いお付き合いのような気がいたします。はい。いい加減建物を建ててほしい、そう思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。貴重な時間でございます。皆様方のご意見、どうぞよろしくお願いいたします。

(○高橋副館長)

はい。それでは、議事の進行につきましては、協議会規則第6条により、会長が議長となることとなっておりますので、以後、坂本会長に進行をお願いいたします。

(○坂本会長)

はい。

それでは、早速です。3番に入ります。

新花巻図書館の整備の基本計画の案について、ご説明をお願いいたします。

3 議 題

(1) 新花巻図書館整備基本計画(案)について

(○菅野生涯学習部長)

皆さん、こんにちは。本日は臨時会ということで、お忙しい中お集まりいただきまして、大変ありがとうございます。

本日は、これまでまとめてまいりました基本計画試案について、3月の18日に開催しました図書館協議会を経まして、教育委員会において協議いただき、基本計画(案)として、市民参画共同推進委員会で認められました3つの市民参画手続きとして、パブリックコメント、市民説明会を進めてまいりました、その状況をお伝えしたいと思います。また、市民参画手続きのもう1つとして、図書館協議会委員の皆様からご意見をいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、市民参画でいただいた意見で可能な部分を反映した基本計画(案)を教育委員会と市が基本計画として定めまして、その後、基本計画に基づく設計等に入っていく

ことになりますが、その予算につきましては市議会に議決いただく必要がありますし、その上で事業を進めていきたいと考えてございます。

現在、計画案からできるだけ早い時期に、会長さんからもお話ありましたけれども、早い時期に計画として、基本設計の予算を議会にご承認していただければ、令和7年度の早い時期から設計に入れるものと思っております。

全体スケジュールといたしましては、現時点では、少なくとも工事の大部分につきましては、令和12年度中に行い、その部分の費用につきましては、有利な起債である合併特例債、その期限もございますので、その合併特例債が使えるようにということで進めていきたいと思っております。

本日の資料の方の確認をさせていただきますけれども、新花巻図書館整備基本計画(案)、冊子になっているもの、また、新花巻図書館整備基本計画(案)説明資料、市民説明会の会議録、新花巻図書館整備基本計画(案)に関する意見、パブリックコメント一覧となっております。お揃いでしょうか。それでは、状況について担当の方から説明させていただきます。

よろしくお願いいたします。

(○市川新花巻図書館主任専門員)

はい。それでは、担当の市川です。

座って、すいません。説明させていただきます。

先ほど部長が説明いたしました、新花巻図書館整備基本計画の案をお配りしたものがございます。

これにつきましては、前回の3月18日に試案という形で皆様方にお配りしたものと同一内容になっております。

建設候補地につきましても、前回、花巻駅前を候補地とするというふうに書いてあったものを綴じ合わせた資料がこの案というふうになっているものであります。

新花巻図書館整備基本計画(案)の説明資料というので、本日お配りしてるものは、市民説明会において、この説明資料を用いて基本計画案についてご説明してきたというものであります。それで、概要版と申しますか、計画案をコンパクトにまとめたものが、この説明資料というふうになっております。

市民説明会につきましては、大迫地域で4月15日、参加人数が11名です。東和地域では4月16日、参加人数が27人。石鳥谷地域で4月17日、参加人数が12名で、花巻地域が4月19日、参加人数が68人、延べで118人ということになっておりまし

た。この市民説明会におきましては、先ほどの説明資料で説明をしてきたということでございます。

会議録をお配りしております。会議録を少しご覧いただきたいと思います。

この市民説明会において、どのような質問があって、どのような意見があって、それについて事務局の方でお答えしてるというのは、この会議録で詳細に書いています、お示ししてるところでありまして、これはホームページにも出しているところがあります。

主には、どのようにして場所を決めてきたのか、ソフト面とか、運営時間とか蔵書とかっていうのは、これまでも、図書館協議会の皆さんにもご説明して、ご意見を聞いたり、図書館協議会のメンバーの方から、お二方、熊谷さんも入っていただいた試案検討会議において議論してきたというところであります。

建設場所について、その駅前にするか総合病院跡地にするかっていうところが2か所候補地になってきまして、そのどちらにするかっていうのは、課題としていたところでありまして、その中で、駅前の方にしたいというふうに市が決めたわけですが、どのように決めてきたのかというようなご意見、ご質問、また、病院跡地の方がいいんじゃないかというようなご意見があったところです。一方で、駅前の方がいいというようなご意見もあったところです。

例えば、東和地区の会議録の1ページです。病院跡地の方がいいというような意見で署名活動をされた方々ありまして、署名が6,181人ぐらいの市民の方、市民以外も含めると1万269人というような署名があります。そのような意見をどのように捉えているのかというような質問が多くあったところであります。

それにつきましては、市では、候補地に対し2つの意見があるという状況の中で、市民どうして対話による市民会議を開いて意見を集約していきたいというようなことを、これまでも言っておりまして、市議会でも予算もいただいて、そのような会議を開いてきたところであります。それで、その市民会議の意見を参考にして、駅前の方というふうに市として判断をしたというところであります。

そのようなことの説明もしておりますし、署名について、ちょっと資料バラバラで申し訳ないんですけども、基本計画案の説明資料という冊子の10ページをお開きいただければと思いますけども、青枠で囲んで署名の内容を書いております。

それで、請願事項としては、新花巻図書館の場所は旧花巻病院跡地の市有地にしてください、宮沢賢治ゆかりの地を生かした図書館にしてください、市民の交流の場となる多目的スペースを備えた図書館にしてくださいというような書面で請願をいただ

いておりますと。

これを踏まえまして、今の計画にもかなりの部分をこの署名の意向を踏まえた形で計画、新しい図書館計画に落とし込んできているというものでございまして、例えば1番の、駅前のJRの用地は狭く、線路脇で電車が通過するたびに騒音や振動が発生ということであります。こういうのをご指摘される説明会での意見もあったんですが、計画では、防音のしっかりした部屋を作る、静かに読書ができる部屋も作りますし、一方で、子どもが騒いでもいいような部屋とか、子ども、若い人に限らず、おしゃべりもできるような空間、スペース、最近の図書館ではそういう事例が多くなっておりまして、音楽を流したりしているような図書館までありまして、そのようなやり方を決めているわけではないですけども、必ずしも駅だからと言ってその騒音がひどいかというと、しっかり防音していけば大丈夫だろうと専門家の設計担当の方からも言われてますし、線路に近い図書館っていうのも事例は多くございまして、例えば栃木県的那須塩原市の図書館は、新幹線の高架のすぐ隣にあるようなとか、福島県の白河市の図書館も線路にすぐ近くのところでありまして、その図書館にも問い合わせたところ、特に問題はないというようなところもありますので、大丈夫かなと思っております。

また、立体駐車場は高齢者や障がい者に使いづらく、維持費もかかりますというようなことでしたが、現段階の計画では立体駐車場ではなくて平面で駐車場にする計画としておりまして、平面でやりたいと考えております。

で、市議会の特別委員会で、市有地でという条件、つまり市が所有する土地でやってくれというようなことだったんじゃないかっていうご意見であります。現在、JR東日本が所有する土地であります。この土地につきましては、当初はJR東日本では売りたいくないという意向でありまして、市の方で用地を借りてというようなことも考えておったんですけども、JR東日本では、市が図書館を建てるのであれば協力してもいいと、協議に応じるというような中から、JR東日本からは売ってもいいという条件を出していただいたという状況でありますので、これは市有地にすることは可能であると考えているところであります。

あと、病院跡地の方は、敷地が広く、まなび学園との連携、生涯学習の拠点にふさわしいということでもありますけども、総合病院跡地と駅前に建てた場合の配置案を専門のコンサルタントに配置してもらったものがありまして、これも広報とか市民説明会でお示ししておりますが、総合病院跡地は一見広いと言いますか、かなりの面積があるんですけども、花巻城の堀がありまして、その東側の堀、斜めのところがありま

す。その部分につきましては、手がかけれない部分とか、北側も含めると急傾斜地崩壊危険区域あるいは土砂災害警戒区域というふうに指定されてる部分があります。それがあまして、建てられないというわけではなくて、その部分を抜けば配置できますというような、2階建ての案を作ってお示ししておりまして、配置はできるんですが、敷地が広いかというと、必ずしもそういうことでもないというところがあります。

あと、まなび学園との連携、生涯学習の連携という可能性も当然ありますが、駅前につきましても、なはんプラザが隣接する形になりまして、なはんプラザでも今は少し高校生とか学生が勉強できるスペースを2階にちょっとだけ作っておりますけれども、そういうようなものとか、カルチャールームとかがあります。そういうようなスペースがありますので、連携は取れるんじゃないかというようなことであります。

次、2番の宮沢賢治ゆかりの地を生かした図書館にしてくださいと、総合花巻病院跡地が稗貫農学校があった場所、宮沢賢治が教鞭を取り始めた、宮沢賢治が教師になった稗貫農学校があった場所で、ここは大変ゆかりがあるというようなことでありますし、まなび学園は女学校があったところで、妹トシのゆかりの地であると。その通り、おっしゃる通りであると思いますし、そういう意見も尊重したいと思っておりますが、一方で、駅前につきましても、銀河鉄道の夜のモデル、モチーフとなった岩手軽便鉄道の発着駅があった場所、あるいは花巻電鉄の発着駅があったところも、まさになはんプラザの北側の辺りでありまして、図書館の候補地になっている場所ということで、ゆかりがあるというふうに捉えております。

先ほどお話しした市民会議というのは3,500人の方にお手紙を出しまして、市民15歳以上の方に出して、図書館の候補地を検討する会議に参加してもらえないかと言ったところ、75名が参加を希望されて、その中で4回、4時間の会議を開催いたしました。全部に参加、出席できなかった方もいらっしゃいましたが、色々、その中で、双方の候補地のメリットはこっちがこういうメリットがある、あるいはデメリット、そしてデメリットの解決策なども、対話で、皆さんでグループで話をしながら検討してもらったという経緯がございます。

その中でも、病院の方も賢治にゆかりがあるけれども、駅前の方もあるんじゃないかというようなご意見などもたくさんいただいているというところでもあります。

あと、3番目の市民の交流の場となる多目的スペース、この市民が利用したくなる図書館は多目的ギャラリーやカフェを併設すればというようなお話ですが、現計画に

は多目的ギャラリーとカフェの設置を盛り込んでおりますので、この請願についてはもうお応えしてるというようなことで考えております。

霊峰早池峰を臨む景観、花巻城跡に続く公園、周辺の大堰川の散策で商店街整備して、歩いて楽しめる街、活性化が期待できる。実は、この早池峰山が病院跡地からは見えません。花巻小学校がすぐ隣接していて、花小が2階、一部3階で林があります。まなび学園の駐車場からも早池峰山見えないんですけれども、もっと近くなりますので、早池峰山の景観というのはちょっと期待できないというふうに考えております。

この辺りも市民会議で見えるのか見えないのかというような話があって、そこはしっかりご説明をしておりますし、市民会議出席者で現地を歩いたり、希望者で歩いたりなどもしておりますので、ちょっと山見えないんじゃないのとか、あるいは、駅の方にも行って、うるさいかどうかというのも確認はしてます。電車は確かに、うるさいと言うと変ですが、音はしますけれども、先ほど言ってるように防音すればいいんじゃないかなとか、そういうあたりも、参加者が見て、ちゃんと考えて、それで対話、話し合いながら考えていただいたというのが市民会議であります。

この花巻城跡に続く公園というのも、先ほど申しました通り、堀に下りることはできないんですね。実は、あその場所に、堀の法面から下の方には入ることができないので、ちょっと公園化するというのは難しいですし、大堰川の散策路というのは、平成6年頃に、レインボー計画という、駅から大堰川を綺麗にした計画がありまして、約23億円のお金をかけて、国からの補助もらって整備したものでありまして、かなりの金額をかけております。ただ、今、草を刈ったりなど、維持管理はしているところですが、これ以上何かこう整備していくかというところ、そういう予定はない状況でありますし、商店街を整備するというのもありますけれども、上町の商店街組合員数は、平成10年には54店舗、令和6年には27店舗あったと聞いております。

27店舗あるのか、そういう中で、マルカンビルなどは頑張っているところだなと思いますけれども、上町家守舎、そこは市の補助は受けないという基本姿勢の中で頑張っておられるというようなところですし、この商店街の振興、活性化というのは図書館とはやっぱり別のものではないかなというところがあります。

このような署名は、非常に貴重で重要だと思っておりました。これに対する質問が結構ありますし、パブリックコメントでも多いんですね。で、病院跡地の方がいいんじゃないのかという意見がありますが、署名につきましては、先ほど来申してます通り、計画策定にあたって、十分に踏まえて、変更しながらやってきたというところが

ございます。

後でご覧いただければと思いますけれども、そのような状況であります。

で、やはりそのように病院跡地を希望されるような意見も多いところです、パブリックコメントも含めてですが。一方で、市民説明会の議事録をご覧いただければ分かるんですけれども、例えば花巻地域の資料で、6ページをご覧いただきたいと思うんですが、質問者5、花巻地域での説明会は、14時から始めて18時、延べ4時間にわたって説明会となりました。他の地域は、大体、1時間半から2時間ぐらい、質問は、そんな感じでしたが、最後までという大変ですが、皆様からのご意見、ご質問がなくなるまで、お答えしたという状況でありまして、途中で、もうなしということはなく、最後までやりました。

それで、結果的に、4時間、皆様のご意見と、ご質問にお答えしてきたという状況でありました。6ページのこの質問者5の方ですね、今日来てる方、ほとんどの方が、病院でいいんでしょうか、私は、駅前に決まって良かったと思いますというようなご意見もございました。子どもとか、高校生とか、使い勝手がいいのはやっぱりそっちではないか、あと、若い方々の意見を聞くべきではないかと。この方だけではありません。その他にも駅前がいいんじゃないかというようなご意見もありました。そのような中で、きちんと我々は説明してきたというようなところでございます。

色々こう説明していくと長くはなりますが、大きく申しますと、この市民説明会においてはそのような状況でありますし、パブリックコメントもほぼ同じような内容、ソフト面につきましては、ちょっと変更をかけたところを若干ご説明させていただきますけれども、大きくは、その建設候補地について、こっちがいいんじゃないか、あっちがいいんじゃないかというようなご意見が多かったところであります。で、今説明した通り、署名をどのように考えているのかというようなご意見、また、どのようにして建設候補地を市が駅前というふうに決めてきたんだというようなご質問が多かったところであります。今、それにつきましては、パブリックコメントの分も全て、今日質問いただいてる、ご意見いただいてるもの、皆様方にもお示ししております。そういうような状況になっております。もしご質問とかありましたらお聞きしたいと思いますし、若干、変更につきまして、ご説明もさせていただきたいというふうに思います。

(質 疑)

(○坂本会長)

はい、ありがとうございます。今、説明していただきました。

まず、ご質問を受け付けたいと思います。はい。白岩さん。

(○白岩委員)

資料今膨大で、資料いただいても詳しく吟味とか話し合いできないと思うんで、今日は説明だけで終わるという、そういう、今日で議決をするということなんですか。来週の月曜日に教育委員会定例会があるらしいんですけど、もうこれで終わり、オッケーで終わりってこと、そういう会議の進行になるんでしょうか。ちょっと詳しく。私はもう一度やった方がいいと思います。皆さん持ち帰って。で、私の場合も、私個人の意見でなくて、市民グループの皆さん意見を聞いて、周りの方の話を聞いて、それを持ち寄って、もう1回会議したほうがいいと思うんですが、どうでしょうか。

(○坂本会長)

はい。事務局、どうでしょうか。

(○高橋新花巻図書館計画室次長)

白岩委員、ご意見ありがとうございます。事務局の高橋でございます。今回の位置付けにつきましては、先ほど菅野の方から説明がありましたように、市民参画に基づいて図書館協議会の委員の皆様からご意見をいただくという場になっております。

で、確かに本日資料をお渡しした部分については、事務局のちょっと作業が遅れた部分がございますので、その分口頭で説明させていただきたいと思っておりますし、今回この内容を見ていただいてご意見をいただければというふうに考えてるところでございます。

(○白岩委員)

わかりました。で、ですね、すごくいろんな問題があると思いましたので、今日、私の方でA4でかなりまとめました。これでも。いろんな問題を周りの人から聞いたリしてピックアップしたので、それを全部話すともう時間がかかるので、今日拙速な結果を出さないんで、これ、それをちょっと吟味していただいてからもう1回やるというふうに、ちょっと足が地につけたような検討していただきたいなと。お願いします。

(○坂本会長)

はい、市川主任専門員さん。

(○市川新花巻図書館計画室主任専門員)

基本計画の案につきましては、図書館協議会委員の皆様方には前回 3 月 18 日の段階でもう既にお配りをしているものであります。

それにつきまして、現段階でまだ変わっておりませんので、これについてご意見をいただければと思いますので、またこれ以上お時間をかけるということになりますと、また時間がかかっていくだけということもございますので、ぜひ今日ご意見をいただければというふうに思っております。

(○白岩委員)

いいですか。私も試案検討会議の委員もやってまして、ずっと経過聞いてた時に、私は建設地が決まらなくても基本計画案はできると思ってんですが、建設地が決まらないとできないという話を聞いたんで、一応決定とした場合に出たのを、やっぱりそれはもらわなきゃなんないと思うんですよ。結局、今まで建設地に皆さんもエネルギー集中して、中身はどうだっていう話がなかなかなかったんですね。今、中身のこと、中身、どのような、花巻の独自性があるとか、あと、どのような図書館が花巻の中央なのか検討がないんじゃないかなという声が結構出てるんですね。だから建設地が決まりましたで終わるんじゃなくて、今度は中身の方の検討をしっかりと、しないと、ちょっと、いいというか、理想的な図書館にならないと思うんですけど。だからあんまり急いでやるんじゃなくて、いやいや、建設地、皆さんが、私もいろんなこと言ってるけど、建設地決まらないと案が確定しませんよって言われたんで、できました。で、私、こんな問題があると思って、中身の問題も教育委員会会議でも出てます、それをちゃんとクリアしたかどうか、きちんと検証しなきゃならないと思いますので、それはこれで紙に書きましたので、全部言うとな、1 時間かかっちゃうんで、よろしくお願いします。

(○坂本会長)

はい。ありがとうございます。じゃあ、市川主任専門員さん、お願いします。

(○市川新花巻図書館計画室主任専門員)

はい。中身、図書館の中身につきましては、令和 3 年にこの基本計画の試案を作る試案検討会議を設置しております。試案というのは、そもそもの案を事務局で作ったわけですが、その前にワークショップをやりまして、市民の皆さんの意見を聞いてます。それを踏まえてこの試案というのを事務局で作りました。令和 3 年から試案検討

会議、3年、4年とやってきたわけでありまして、その中で、試案検討会議の委員としても一時期白岩委員さんされていたと思いますし、熊谷委員さんと堀合委員さんは図書館協議会の中から出ていただいて、中身を吟味してきたということがあります。

中身を吟味した上で、図書館の候補地がどちらかがいいかと、その当時は6か所候補地を出しておりました。駅前についても、その現在のスポーツ用品店の場所となはんプラザの東側の駐車場、その他にはまなび学園の前とまなび学園の体育館を壊して建てる案、その南側の営林署跡地に建てる案、総合花巻病院跡地の6か所の中から、3年、4年で検討してきた中身を検討してきた、図書館を建てるにふさわしい場所はどこだろうなっていうのを試案検討会議で考えてもらったと。2か所に絞られてきて、どちらかという駅の方がいいんじゃないかっていうふうに出したのが試案検討会議でありました。ただ、それを市民説明会をしました。土地については、先ほど申し上げたとおり、JR東日本の土地ですので、市議会の提言を踏まえると、買わなければいけないということになります。JR東日本に協議をしたいっていうことも市民説明会をしたところ、病院跡地の方がいいというご意見が多くありましたし、駅前的がいいというご意見もありました。また、双方に建てた場合の事業費がどれだけかかるんですか、これを調べなければ判断できないですってというようなご意見もたくさんあって、それで、その後に予算をかけて、これも議会に承認いただいて、専門コンサルタントに事業費を積算してもらったというものです。

このことは、広報でお示ししましたし、それに基づいて、先ほど申しました市民の各年代の方々、無作為で抽出した中で、75人、申し込んでいただいた方々、その方々、駅がいいとおっしゃる方もありましたし、もちろん病院がいいとおっしゃる方もあったんですね。その皆さんが話し合いをして考えてきたと、周辺環境とか、歩いてみたり、実際にいろんな自分の考えをお話しされた中で検討してきたと。その成果、結果、意見を見ました。これも広報等でお知らせしてますが、それについて市は、それを見まして、病院の方じゃなくて駅前の方を市として選んだということですので、ご理解をいただきたいというふうに思います。

(○白岩委員)

建設に関しては私はどちらでもいいと言ひ方はあれですけど、どちらに決まっても私は否定はしません。前は駅前的がいいのかなと思ってたんですが、病院もいい、どちらもメリットあるんで。だから建設地はどちらに決まっても別に私は何もないと。

私が言いたいのは決め方ですよ。市民会議で10項目の視点、AIで分類した中で、上のなんで5つだけを取り上げてその数字で決めたかという理由が聞きたい。10項目のうちの下項目でも、歴史・文化とか、あと費用とか、きちっと、方針、基本

方針とか、中に入ってる項目があるのに、それを十分に吟味した上でこうこうこうですという理由を挙げてもらえば病院跡地派の方も納得できるんです。結局、市民会議終わった後も納得しなくて、なんかシンポジウム開いたりとか、パブリックコメントたくさん出してんですよ。結局、合意形成ができてないんで、意見集約ができてない。で、市議会でも言っているように、市の方針としては、市民同士が話し合って意見集約を図ります。多数決は決めないとずっと長年言っていたのに、全然そうじゃないじゃないですか。多数決にしても、多数決で決めてもいいんですけど、上の5個だけで切っちゃった、それはなぜかという、なぜそうしたか。で、それを、出た結果をどういうふうに計画室で揉んで、練り直して、追及して出したかっていうのを、ちゃんと実現しないと納得しないと思うんで、それをしていただきたいと。

で、さっきの話なんですけど、中身の、中身の部分は私は別にいいと思うんです。その文章の表現の仕方が、書き方ですね。私、A4に書いたんですけど、新花巻図書館サービスで、基本サービスで12個挙げてますね。で、これはそれぞれ素晴らしいと全然否定はしないんですが、書き方の問題で、これは全部、方針とか手段とか全部ごちゃごちゃしてんですよ。混じってるから、きちんとこれは方針ですよ、これは設備、サービスって分けないと、ちょっと何がなんだか分かんなくなってますよね。だからそれ、内容は別に否定はしません。市民に分かりやすくきちんと分類して、イメージできるように、あの文章をこう簡略化してわかりやすく書いてほしいと。以上です。

(○坂本会長)

はい。市川さん。

(○市川新花巻図書館計画室主任専門員)

今おっしゃったその最初の5つだけを切っちゃって、その他は踏まえてないとか、多数決はどうだっというようなことなんですけども、この説明資料の8ページをご覧ください。ちょっと小さくて恐縮ですが、8ページの上です。

市民会議に参加した皆さんで、75名参加希望あったわけなんですけども、最終的に、4回目の会議後に、ヒアリングシートっていうのを書いていただいております、それは65名になります。その書いていただいた65名のヒアリングシートっていうのは、上の確認っていうのがありますけども、活性化、文化・歴史、他施設との連携、周辺環境、アクセス、安全、防災、土地、駐車場、費用という視点・分類っていうのが左側に書いてます。小さくて、すみません。この分類で、どちらの場所がいいかっていうのを書いていただいております。明らかに病院っていうのが1番左、次がどちらか

たとえば病院で、3番目はどちらでも良い。4番目、どちらかと言えば駅、右端は明らかに駅がいい、というような分類です。

それで、この分類、10の分類は、市が勝手にこの分類と言ったわけじゃなくて、先ほど言いましたメリット、デメリット、各土地、場所の、それを考えていただきましたが、そのグループワークの中で参加者が考えてくれた分類です。これをAIを使って集約しながら分類をAIが作ったわけではないんですけども、この10個の分類を言う人が多かったということで、こういうふうに集約して、この分類、視点で見ればどこがいいですかっていうのを聞いたのが上の確認1です。

これ見ますと、活性化というのは、1番右側、明らかに駅っていう人が多かったということです。文化・歴史っていうのは、真ん中の30人、どちらでも良い、どちらでも良いというのは、どちらの場所でもあまり変わりはないんじゃないかということというふうに解釈できると思います。3番目が他施設との連携。これもどちらでも良いっていうのが多いです。26人。4番。周辺環境。これはどちらかと言えば駅前が良いっていうのが多いわけですね。次。アクセスは明らかに駅前が良い42人ということです。安全はどちらかと言えば駅前が良いと思うが25人で1番多いと。次は、防災。防災が、どちらでも良い。どちらの場所も同じぐらいだろうなっていう観点から28人。土地については、どちらかといえば病院側が良いが16人で1番多いと。駐車場については、どちらかといえば病院側が良いが24人で多いと。費用については27人。どちらでも良いんじゃないかっていうのが1番多いということが上の確認です。

次、確認2ですが、確認2っていうのは、この10の分類、先ほど言った活性化とか文化・歴史の分類で、どれが重要だと思いますかっていうことです。重視された分類、それを5位までつけてくださいっていうヒアリングシートなんです。1位、2位、3位、4位、5位まで皆さん書いてもらいましたと。その5位まで書かれたのが、1位だからって言って、ポイント高いわけじゃないです。この段階ではですね。1、2、3位で書いた人数が1番多かったのは、アクセス56人が1番多かったということです。つまり、図書館を建てる場所として重視する考え方はなんだろうか。アクセスが1番重視すべきじゃないかっていう人が多かったということです。次、活性化51人が多かった。活性化という観点を重視すべきだっていう人が多かったということです。3番が安全。42人。安全という考え方、安全面ですね。それも重視すべきではないか。4番は、周辺環境40人。5番目が駐車場が34人だったということです。6番目が費用ですよね。23人。そして、7番は、どちらも19人ですが、他施設との連携、土地、続いて、文化・歴史、そして防災っていう順番で重視すべきっていうふうなことになりますということです。まずは、5番目まで順位をつけたわけですから、上位5つを見ましたということです。上位5つを見ますと、アクセス、活性

化、安全、周辺環境、駐車場だということですね。

そうすると、先ほどの確認1に戻りますと、アクセスは明らかに駅が良いっていう人が多いってことですよね。2番の活性化も明らかに駅前という人が多い。3番。安全はどちらかと言えば駅前が多い。4番、周辺環境もどちらかと言えば駅前が良いって人が多いってことです。5番目、駐車場はどちらかと言えば病院側が良いってことです。それがありまして、先ほどこの8ページにおいては、中段の下の辺り、駐車場について、危惧される方も多かったことから、花巻駅前では以下の考えにより、利用しやすい駐車場の確保に努めますということで、駐車場についても色々検討して配慮してきますよってことを示しているということです。

なお、その5番目以下、6、7、8、9、10があるわけですが、6番目は何かというと、費用ですね。これはどちらでも良い。7番目は連携。これもどちらでも良いが1番多いですね。8番目は土地。これはどちらかといえば病院。9番目、文化・歴史も、どちらでも良いが1番多いですね。で、10番ですか。10番防災もどちらでも良いっていうのが多いってことです。上位5番目で、我々、上位5番目だけこうお話をしておりますが、ちなみに、この全部10個入れたとしても、明らかに駅前が良いってものが2つ、どちらかと言えば駅前ってものが2つ、どちらかと言えば病院というのは2つ、その他はどっちの場所でも同じじゃないか、どちらでも良いか。ですよ。ですから、10個見たとしても、駅前の方が評価されているのではないかと我々は考えているということです。

(○高橋新花巻図書館計画室次長)

補足ですが、白岩委員は、たぶん市民会議に傍聴に来ていただいたと思いますが、あくまで市民会議については意見をまず可視化したいと。無作為で抽出された市民の皆さんが、私たちが説明した情報を得て、どういうふうに考えられたのかを可視化したいということでこういう分け方をしています。

今、市川の方から説明した通り、参加者の方々、どちらか1つがいいというわけではなく、この考え方にしてはこちらがいい、この考え方に関してはこちらがいいということで、それぞれご自分の中で思ってる意見を可視化することができたと思っております。

それを踏まえて、市の方では多数決ではなく、判断材料を踏まえ、これまで検討してきた基本構想など、市の考え方とも一致しておりますので、駅前を選定させていただいたというふうに考えております。

(○坂本会長)

はい。ありがとうございます。白岩委員さん、いいですか。

(○白岩委員)

私が書いたのは、10項目を全部採ったら病院跡地の方がふさわしいんじゃないかなと。

例えば、費用の面は、費用がわからないと判断できないという3年前の市民説明会あって、それで結局1年経った後に、去年かな、やっとコンサルタントが、1年放置されて、約1年前に調査に2年かかってんですよ。で、そんだけ費用に関しては年月かけてるのに、その、どっちでもいいのかわかんないけど、そういう、なのに、下の方はなんかカットされたような気がしてなりません。で、私聞いたのは、ファシリテーターの先生から聞いたのは、あくまでも市民会議の結果は市当局に判断材料を渡すための会議であって、ここでは結論出しませんっていうことなんで、その結果を受けて市の方がそういう判断したっていうのであれば、きちんとそれを説明すれば、市民会議がアクセスがいいと思うのでって、それだけで、じゃあ市の方ではやっぱりアクセスは駅前の方がいいと判断するとか、はっきり市の思いというか、そういうのを出して説明すれば僕は問題ないと思う。それがなくて、ただ数字が出ました、はい、だからっていうふうに説明この前市民説明会でしてたんで、納得しなくて、今日、さっき、先ほど部長色々話しましたが、多分、市民会議の結果受けて、もうちょっとバージョンアップした説明受けて、これまでの説明とはちょっと違うなっていうか、もうちょっと詳しく説明されてたんで、多分市民会議の結果、色々受けて、また検討したと思う。それはちゃんとわかるように伝えた方がいいと思うんです。そうすると、まず反対派ではまだ納得してないみたい。納得してないから余計パブリックコメント増えたんじゃないかなと思うんで、きちんと市でこう考えましたと。それ早く、説明というか、していただきたいな。

(○坂本会長)

よろしいでしょうか。じゃあ、市川さん。

(○市川新花巻図書館計画室主任専門員)

すいません。まず、費用を積算するのに、放置して時間がかかったっていうわけではなくて、今説明したとおり、きちんと予算を取らなければいけないのがあります。で、これは業者がきちんと駐車台数から積算したり、あと、その急傾斜地はどこまでなのかとか、駅前に建てた場合もどこまで建てられるのかとか、しっかりとした調査をやるにはやっぱり1年ぐらいかかりまして、それについても市議会の皆様にも説明

してきて予算いただいて進めてきたものであります。我々できるだけ早く進めてやってきたわけでありますので、ご理解を賜りたいと思いますし、市として判断材料、市民会議の皆さん出してもらったこの数字もありますし、その他に色々書いていただいている意見もあります。そういうのも踏まえてこちらの方に判断したということですが、市が定めた基本構想があります。市が定めた、当然これも市民参画、市民の皆さんの意見を踏まえて定めた基本構想がありまして、その中にも建設場所の方針として、アクセスがいい場所であるべきだというような趣旨の内容を書いているところもあります。

あと、まちなかの再生、活性化に資するべきだ、基本方針の中では、まちの未来のための図書館となるべきだというようなことも書いていた、当然それって市の、市民の皆さんの意見を聞きながら作った基本方針、これは市の意向であります。それに即しているものだというふうに捉えておりますので、駅前の方を候補地にしたということにご理解いただけるかなというふうに思っております。

建設場所に関する方針としては、図書館は市民をはじめとする利用者にとって利用しやすい場所にあるべきですと。交通アクセスがよく、わかりやすく、市全域から行きやすい場所で、十分な駐車場も確保できる場所が望ましいと考えますっていうのが基本構想、平成29年に定めた基本構想の中で書いている場所についてですよ。それ以前からご説明してましたので、で、この基本構想の中で、建設場所については、数か所を選定した上で、基本計画で定めますと。つまり、今定めようとしてる基本計画で定めますということにしてたので、このような手続きを経てやってきたということがあります。

(○坂本会長)

はい。最初の頃は、駅前の方の駐車場は立体駐車場の説明だったと思っております。そうすると、一旦、駐車場は使いにくいだろうっていうことで、それがちょっと難点だったっていうことが、いっぱい意見として出されました。はい。それが、駐車場が立体ではなく、このように使いやすい駐車場のようになんて変わってきたっていうのは、市民のいろんな声を取り入れて、市で、予算の範囲内でちゃんとできるんだっていうことをやってくださってるんだなっていうふうに感じておりますが、白岩さん、どうですか。

(○白岩委員)

私自身も駅前のそば住んでるんで、で、私、車持ってないんで、駅、JR沿いの図書館、岩手県立図書館とか、紫波町図書館とかよく行くと、駅前もいいなと思ってた

んですが、病院も聞いたらそこもいいな。いいなってことは、例えば、市役所が近いから、役所の行政書類とかの管理とか、あと市民も交えて活用できるメリットもあるかと。でですね、それもちょっと計画には載ってる、載ってるっていうか、1 番最後なんで。それはもうすごくいいなと思ってます。

(○坂本会長)

市がいろんな市民の声を聞いてくださってるっていうようなこと。

(○白岩委員)

例えばお年寄りとかが、立体駐車場が、例えばお年寄りとか、あと免許返納とか、車で行けないとかって。ただ、それはシステム、例えば今移動図書館車とかありますから、逆にそれをこう、僕は移動図書館車は使うんですけど、ほとんどの人が行っていないような感じ。そういう図書館を手配して、逆にこう、図書館を、こう、本をこう、こっちの方にこう持ってくるとか、なかなか行けない人。

(○坂本会長)

使いやすいようにやっていただくっていう。

(○白岩委員)

そういう、そういう工夫もできると思うんで、駅前だから使いやすいか、どうのこののと言ったらそういうアイデアも色々あると思うんで、そういうのも盛り込んでいただきたいなと思います。

(○坂本会長)

そうですね。それでは、他の方々はいかがでしょう。よろしいでしょうか。

(○高橋新花巻図書館計画室次長)

1 点だけ、すいません、パブリックコメントの状況を説明させていただいてよろしいでしょうか。

資料といたしましては、お手元に今日配布させていただきましたパブリックコメント一覧という、こちらの A4 縦の厚い資料になります。

こちらにつきましては、今パブリックコメントいただいた件数が、ご意見が記載されておりまして、4 月 1 日から 4 月 30 日までパブリックコメントを実施させていただきまして、86 名の方からご意見をいただいております。お 1 人で複数のご意見をいた

だいた方もいらっしゃるしますので、トータルの件数で言いますと、今 134 件頂戴しております。その中でどういう形で反映してるかっていうと、現時点で作業中でお示しできないんですけども、ご意見としていただいている内容といたしましては、建設場所に関する話で言うと、駅がいいというご意見は約 28 件で、病院跡地がいいんじゃないかというご意見は約 47 件ほど頂戴してます。そのほかに基本計画の中身についてのご意見もあり、こういうふうに直した方がいいんじゃないかということでご意見をいただいておりますので、そこをどう直すかという部分について、現時点で決まっている部分をお示しさせていただければと思います。

こちらのパブリックコメント、ナンバー4 番になります。3 ページ目のナンバー4 になります。図書館サービスの基本と種類という部分で、はい、こちら、すいません、行ったり来たりして大変恐縮なんですけども、こちらの資料、後でご覧になっていただければいいんですけども、こちらの部分につきましては、実はもう市民のニーズを把握したらどうだっていうご意見でしたので、文章として、利用者のニーズの把握に努め、サービスの充実を努めてまいりますということで、記載してまいりたいというふうに考えております。

15 ページになります。15 ページ 5-3 の新図書館サービスの基本と課題という部分になりますけども、その部分のリード文になりますが、リード文の 1 番最後の部分を、実は今と変えまして、最後に、利用者のニーズとサービスの充実を図っていきますというふうに変えていきたいなと考えております。

次なんですけども、計画案の方の 16 ページになります。16 ページの部分、ナンバー11 番のご意見、アウトリーチサービス、こちら、すいません、行ったり来たりして恐縮なんですけど、こちらの部分、パブリックコメントの一覧の 11 番になりますが、こちらの部分、アウトリーチ、OPAC だったりいろんな部分を使ったらどうだ。で、16 ページになります。直した部分については、16 ページの(2)サービスの種類という部分に、子どもの部分のサービス、こども園や学童クラブや高齢者施設等に団体貸し出しを行いたいというふうな記載を書こうかと思ってます。こちらの部分、このように、1つ1つ今、実は文章を直しております。で、134 件ございますので、1つ1つ確認させていただいて、今、お示しできればいいんですけども、その文章を、今、調整させていただいております、分かりやすく、整理させていただいておりますので、直しているということを、ご理解いただければというふうに思います。

(○坂本会長)

読んでいくと、もう、すごい読み応えのあるご意見をですね。で、それを取り入れていくっていうのも、大変な作業になるかと思いますが、これも、皆さんの意見を取

り入れて、みんながこう、使いやすく、そして頻繁に人が訪れる図書館になってほしいなと思っております。

賑やかな図書館、これを願っているところですが、事務局からの説明は以上でしょうか。

はい。それでは、皆様からのご質問ありませんでしょうか。はい、白岩さん。

(○白岩委員)

すいません、何度も。私は検討会議でも発言したことなんですが、3つの基本方針あって、それは素晴らしいなと思うんですが、他の先進的な図書館ですと、大体が理念とかビジョンとか掲げて、将来像ですね、掲げて、その次、方針があって、その下に設備とかサービスがあって、これ何段階あるんですが、花巻市の場合は3つしかないですね。で、教育委員会会議でも、会議録に載ってるの、順番もちょっと変えた方がいいんじゃないかなというのも出てまして。

で、例えば、以前、中央図書館、中央図書館構想の時はキャッチフレーズがあってですね、あと、4番、3つの基本方針プラス、4番目に賑わいとか、活性化とか賑わいみたいな書いてあったんですね。で、それをか、上下カットしてるんですが、やっぱり、市民の方、子どもでも分かりやすく、何を指すかっていうキャッチフレーズというか、そういうのをつけた方がいいんじゃないかなと。

で、さっき言ったようにサービスの方針とか、サービスもごちゃごちゃ、どれが方針なのか、どれが実際の設備がもわかりづらいんで、優先順位決めた方がいいと思います。

あと、予算の関係で、やっぱりどっかカットしなきゃならないとか出てくるかもしれないので、基本計画案にいろんな良い図書館、写真とか載ってますが、やっぱり優先順位決めて、足りない場合はカットしなきゃならない場合も出てきた場合に、どれを、どれが1番優先的に大事にするかっていうのを決めて、優先順位決めた方が、私はそれいいんじゃないかなと思うんです。そういうふうに、今から、内容はいいと思うんで、書き方の順番とか、わかりやすくとかっていうふうにしていきたいなと思います。

(○坂本会長)

13 ページに基本方針が載ってございます。「郷土の歴史と独自性を大切に、豊かな市民文化を創造する図書館」「すべての市民が親しみやすく使いやすい図書館」「暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館」図書館に必要なことがみんな載っかっているようなですね。これを、もっと言葉を磨いていただいて

というのが、白岩さんの、優先順位をつけてっていうのが白岩さんのご意見だったように思うんですけども。

はい。市川さん、どうぞ。

(○市川新花巻図書館計画室主任専門員)

はい、ありがとうございます。この基本方針3つは、平成24年の10月に、今の計画の前に、図書館を移転する構想がありました。それは旧厚生病院跡地に建てたいというものでありまして、その計画の根底になったのが、花巻図書館整備市民懇話会っていう皆さん、入っただけの方もあると思いますが、その懇話会の皆さんが考えていただいた基本構想の3つ、そのままです。この3つで、先ほどおっしゃった4つ目のというのは、その後に市が考えてプラスしたものです。ということで、元々の市民懇話会から出された3つの基本構想を、今のこの29年に基本構想を作った時に、前の市民懇話会の皆様にお集まりいただいて、これを引き継いでいきますということで、ご説明した上でやったものですので、加えることは考えてなかったというところでもありますし、そのキャッチフレーズについても、市民に親しみを感じてもらおうっていうことは大切かと思います。ただ、基本構想を作る段階では、まだそのキャッチフレーズまで考えるのって、かなりの労力を使って考えられてきておりました。で、そのキャッチフレーズは引き継がずに、基本構想は、基本方針3つ、その前段として、先人、学びの風土があるというような文章を付け加えて作ってきたという経緯がありましたので、ご理解のほどいただきたいというふうに思います。

(○坂本会長)

はい。じゃあ、白岩委員さん。

(○白岩委員)

平成25年新花巻図書館基本構想の中では、基本方針4つ目に加わって、市民の出会いが生まれ出す賑わいと豊かさを育む図書館ってのはあったんですけど、それはなくなったんですけど、今回の建設地を選定するにあたって、活性化がかなり大きな要素になってるんで、活性化っていうのは今のところ入ってないので、そのかなりの労力使って建設地を決める、ポイントのあった活性化も入れた方がいいと思う。活性化というのは図書館の役割って。1つ疑問なのは、先ほど市川さんがおっしゃられた、商業施設の活性化ではないって言われたんですけど、上町の場合はどうなるかって話。で、じゃあ駅前は何の活性化なのかなと。ちょっと今も疑問に。人流の活性化って意味なのか、私は駅前の商業施設の活性化も含まれるんじゃないかなと思ったんですけど、

今日、その活性化がなんなのかという疑問を持ってる人もいるんで、何の活性化なのかというのをはっきり示した方がいいんじゃないかなと思います。基本方針の中で示していただきたいなと思います。

(○坂本会長)

はい。市川さん。

(○市川新花巻図書館計画室主任専門員)

はい。すいません。先ほどちょっと言い忘れました。

この3つの基本方針、順番をつけるということは考えておりません。つまり、予算がなければ3つ目はなくなるっていうことは考えてなくて、やはりこの郷土の歴史と独自性を大切っていうのも重要です。全ての市民が親しみやすく使えるっていうのも大切です。で、この暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点っていうのも大切なわけです。これを踏まえてやっていきたいというものですので、順番は当初のままというか、これでいきたいと思っておりますし、順位がついてるわけではありません。あと、先ほどの活性化につきましては、この基本計画のその基本方針、13ページありますけど、その黒い枠の上です。先ほど申しました黒い枠の最後のから2番目の行に、まちや市民に活力と未来をもたらす図書館を目指してというふうに前文で書いているものです。これは、市民会議の参加者の皆様にも、この基本方針ご覧になった上で考え、検討しているわけですから、活性化という視点は大事だという視点はここから生まれてるもの。市民会議の参加者の意見では、やっぱり花巻市、もっと活性化、商店街に限らずですよ、例えばその図書館で少しく賑やかにしてほしいとか、シンボルになってほしいとかっていうような意見が多かったところです。そういうようなこともあります。あと1ページ、先ほどの計画案、1ページの1-1、図書館に関する近年の状況の1番最後、この商店街や地域活性化、まちづくりのための中核施設としての役割も期待されていますって書いてます。次の1-2整備の必要性の、これも最後から2番目です。市街地再生を図るための核としても、新しい図書館の整備が必要になっています。というふうに記しておりますので、これも構想段階の時からこのような示し方をしておりますので、それに即したものというふうに捉えているところでありますので、ご理解のほどお願いいたします。

(○坂本会長)

図書館が中心になって活性、人の交流が起きて活性化するっていうの、紫波の図書館もそうですし、近年では金沢の図書館がものすごい賑わいだったんです。これ、本

当に図書館かと思うくらい人がいっぱい出入りして。敷地も広かったんですけど、マルシェも出たりして。そうすると、お買い物に行きながらついでに図書館に行くとか、それからあと、大きな飲食スペースがあって、子どもがハイハイしながらいられるような、そういう場所もありました。だから、今の図書館っていうのは、図書館、知の拠点であるだけでなく、やっぱり活性化にも資するっていうことは大きな意味があるのかなと思います。

(○高橋新花巻図書館計画室次長)

今会長さんからお話ありました部分につきましては、先ほど市民会議の皆さん自由記述欄ということで、皆さんに自由なご意見をいただいて記載しております。その中で、やっぱり会長さんおっしゃった内容のように、花巻を活性させればこれからの生活が良くなる、あとは図書館が建つことで人が集まり活性化することを望んでいるという声だったり、市全体の活性化に貢献してほしいとかっていう声がヒアリングシートの中に記載されてて、参加者の方々からもご意見としてございますので、白岩委員のおっしゃった活性化という部分につきましては、そういう部分を含めて、小さな商店街の部分ではなくて、まち全体をどうするかっていう視点に参加者の方が立っていただいて、こういう選択をなされたというふうに考えております。

(○坂本会長)

たくさんの方の思いがあるわけですね。はい。白岩さん、どうぞ。

(○白岩委員)

分かります。基本方針の中で市民に活力と未来をもたらす図書館を目指してって書いてあるのは知ってます。ただ、市民会議に出る方、説明、病院跡地派の人とかはそことか読まないんですよね。だから、まちや市民に活力と未来をもたらす図書館を目指してって書いてある、目指す図書館像として、もっとそのキャッチフレーズじゃないけど、文言としてきちんと大文字でこう書くとか、どこどこの文章の中では入りますよじゃ、読まないんで、わかりやすく書いた方がいいと思うんですよ。で、例えば基本方針最初に長らく書いてますが、これ大事ですけど、これは後で今日方針の3つの後で解説を書くべきだと思います。細かいところですが、あと、課題解決に役立つ知の情報拠点、図書館の説明で、これからの図書館は市民の読書や生涯学習を支援するだけじゃなくって書いてますが、生涯学習の推進は花巻図書館の活動方針とか運営方針があるわけ、第一にあるわけです。だから、読書や生涯学習を支援するだけでなくって書かれると、なんかすごく生涯学習が軽んじられるような形と取られると思う。

だから、ちゃんと生涯学習という文言をきちんと、生涯学習を推進するというのをちゃんと入れた方がいいと。支援するだけでなくじゃちょっと薄いというか。そういうのも、だからきちんと検証というか、よく、チェックというか、文言でですね、ブラッシュアップしたやつ、文章分かりやすくしてほしいなっていうのが希望です。

(○坂本会長)

はい。市川さん。

(○市川新花巻図書館計画室主任専門員)

はい。確かに、この基本計画は、基本計画としてはかなり濃厚なと言いますか、かなりあらゆる分野について書いていると。他市の図書館の基本計画に比較しても、相当詳しい基本計画になっていると思います。ただ、これは令和3年から、試案検討会議の皆様に参加していただいたご意見、学校図書館との連携とか、あまり書いてないんです。他の図書館計画では。学校図書館との連携、あるいは中央図書館としてどのような連携をしていくかっていうのも詳しく書いてます。蔵書についても、普通ですと何万ぐらいですけど、そんなのじゃなくて、もっと詳しい分析をしてやってるっていうところまで書いてます。ですので、色々重複する箇所はあります。実はこれ、コロナの時期でしたので、感染症対策っていう項目も相当あったんですよ。ただ、これはコロナ終わってきたので、抜いています。なくなったのもあります。短くなりました。そのようなことも含めて、あらゆる分野、白岩委員も試案検討会議で参加されたときもあるのでお分かりだと思いますけど、いろんな意見があって、それらどうしてもできない部分もありましたけど、できるだけ委員の意見を踏まえて書いていった関係もあります。こういうような形になっておりまして、検討会議の委員の皆様方にはちょっとたくさん長いところもありますけども、まずこれでご了承をいただいたという中で、このように案となってきたものでありますので、まず進めさせていただければなというふうに考えております。

(○坂本会長)

他に皆様、ご意見ございませんか。はい。菅原委員さん。

(○菅原委員)

市川さんが一生懸命話をしていただけてますが、確かに花巻の討論会の4時間というのも非常に熱い思いがあって、きちんと丁寧に答えられて、それがホームページに載ってるのを拝見して、すごいことだなっていうふうにちょっと感じた次第です。

で、さらには、今日、このパブリックコメントをいただいて、これを1件1件きちんとお答えしますということでしたので、これもすごい市の熱い思い、市民の思いを受けて、よろしくお願いしたいと思います。

で、私はもう決まったことですので、あまりとやかくいう立場ではないんですが、もし今日この場で教えていただければと思うんですが、このパブリックコメントの、29ページのナンバー94、建設予定地の選定で、この方がおっしゃってる総合花巻病院跡地を買い取って駅前を候補地として無駄になりませんかというんですが、私はそれはノーコメントですが、総合花巻病院っていうのは、失礼ですけど、これは市の、今は所有物になってるのでよろしいんですよね。市の所有物。で、今回もし駅前に決定した場合、これについては市としては何に使うのかっていうのは全く今は白紙っていうことでよろしいでしょうか。

(○市川新花巻図書館計画室主任専門員)

はい。総合花巻病院跡地は、令和6年3月に3億2,000万円で市が取得したというものです。令和6年の3月、ついこの間ではありますけども、あれは総合花巻病院が、移転するにあたって協定を結んで買い取りますということがあって、それまで建物をきちんと壊していただいて、整理した上での買い取りということでしたので、このように時間がかかっております。これはなぜかという、壊して買い取るというふうな約束をしなければ、新興跡地のように、建物を残されたら困るというような市の考え方は当然あって、そういうような協定で買ったという形になってます。それは図書館を移転するために買ったというわけではなくて、その新興跡地みたいな形を避けるためにそういう協定を結んで買ったということでありまして、現段階で、市の土地になっています。

で、駅前に図書館をつくる場合に、またそちらの土地を買うというのを計画してるわけですが、病院跡地についてもまちなかの貴重な土地であるというふうに考えておりますので、ちょっと法面などに先ほど来言った、地形の制限はありますけども、有効な活用ができるように検討していきたいというふうに考えているところです。

(○菅原委員)

素朴な疑問でした。はい、ありがとうございます。

(○坂本会長)

はい。ほかにご質問ございませんでしょうか。

(○浅沼委員)

浅沼です。ちょっと今の自分の話をさせていただくと、昨年度まで笹間第一小学校の校長だったんですが、4月から若葉小学校で高学年の理科を教えています。すぐ近くなんですが、平日の勤務が終わった後に、なんかちょっと本か借りて帰ろうって思って、図書館に行ったんです。

そしたら、若葉小学校の子どもが来ていて、こんにちわって言って話をし、それから、学校帰りに本を借りて帰る文化ってすごくいいなってその時思ったんです。で、移転することによって、こんなに近くはないんですが、新しい図書館でも、同じように、子どもがふらっと行って、なんか本を借りて、じゃあ自分がじゃあこれ読もうって言って借りれるような環境になるといいなと思うし、自分が考える理想の図書館って、読みたい本が山ほどある図書館がいいな。

すいません、芝生とか何階建てとか駐車場とかそういうんじゃないくて、本当にそこでいいので、自分が読みたい本が本当に何万冊も山ほどあって、これも読みたい、これも読みたいってちょっとだけ開いて読めるような、そういう本がある図書館が自分の中では理想の図書館です。すいません、ただの感想です。

(○坂本会長)

ありがとうございます。青年会議所からの、高橋さん、いかがでしょうか。

(○高橋委員)

ありがとうございます。感想っぽくなっちゃうんですけども、図書館をつくりたいのか、複合施設をつくりたいのかってところで、ちょっと話がどっちなのかなと思いながら聞かせていただきました。図書館つくる上での複合施設の中での活用はどっちがいいのかなって話ではちょっと聞かせてもらってましたけど、私的には、駅前に作ることについては賛成と思っています。

で、基本的なこの整備基本計画の中身をちょっと今読ませていただきながら思ったのが、実際、目標、オープンから何年後っていう数字も示されてると思うんです。多分、その具体性がもうちょっとこれから見えてくると、じゃあ、これがやりたいからこの数字なんだねっていうものが出てくるのかなってところまで、結果、皆さんも納得感もこう増してくるのかなと思って聞かせていただきました。

パブリックコメントのいろんなご意見全て反映させると、敷地面とかもう何階建てになるんだろうと思いながら見てましたけども、そこもどういろんな優先順位つけられながら作っていかれるのかなと思って期待しています。以上です。

(〇市川新花巻図書館計画室主任専門員)

ちょっとすいません。複合施設についてなんですが、過去に、令和元年の1月29日に、駅前の場所に複合施設で図書館を作りたいっていうのを公表した経緯があります。それは先ほど来申した通り、JR東日本でスポーツ用品店を貸している場所です。

それは土地を貸しているもので、JR東日本では、土地は売りたいくないという意向だったんですね。

我々、なぜそこが図書館候補地にいいんじゃないかって考えたのは、その前の段階で、総合花巻病院跡地を含めたまなび学園周辺に移転するというような計画、立地適正化計画という中で、それをまちなかに施設を集約するという計画です。

その中で、まなび学園周辺っていうふうに示したことはあったんですね。図書館移転場所をですね。ただ、駅に近い方がいいっていうような意見もありましたし、我々、できるだけ駅に近いところを考えてきたっていうことがあります。

で、29年の8月に基本構想を作りました。基本構想では場所を定めてないんです。駅もいいし、まなび学園病院もいいからって、場所を定めてなくて、後で基本計画作るときに検討して、複数を検討して、今回の基本計画で定めますって言っていたのが29年の段階です。

その前には、一旦、まなび学園周辺を候補地にしたという時期もあるということです。

で、駅近い方を考えた中で、駐車場の場所、先ほど言ったなはんプラザの駐車場、あと、駅のそのスポーツ用品店の場所、市の土地ではないんですけども、あの場所、駅に近くていいんじゃないかって考えました。

で、JRさんに相談したところ、売りたいくはないというわけです。JRさんで、売りたいくはない。そうした時に、借りてやるという方法をできないかっていうことを考えた。土地を借りて、土地を借りて建物を建てる。

そうすると、複合施設。お店入れたりとか、映画館を入れたりっていうのも考えて、実はそれ調査してるんですね。平成30年に複合施設を作る調査をしています。

ただ、中央の大手の方にこれもコンサルタント頼んでやってもらってるんですけども、なかなか花巻では難しいと言われたんですね。

で、借りてやる方法でアイデア出てきたのは、上に賃貸住宅をつける、そうすると家賃で、家賃収入があって、それをJRに払うと。借りてやるわけですね。これを定期借地権で50年でやると。定期借地っていうのは建物建てた方が有利な定期借地権ですから、途中で出るというようなことはないわけですね。

そういうふうに土地を借りて複合施設を作って、住宅とカフェなんかも入れてたと思いますが、そういうような施設を作りたいと。そうすれば、家賃をもらって、家賃

でJRさんに払う。ただ、JRでは固定資産税を市に払わなければいけないですね、土地、市の土地じゃないですから。

そういうような方法を考えて、それについて調査をしてきたいということで、1月29日、令和2年に発表したことがあります。ただ、それについて反対の意見が多かったですね。

市議会でも反対されまして、市議会では図書館についての特別委員会作られました。それは、議長を除く全員が入る特別委員会という中で議論していただいて、で、説明資料の、9ページに書いてあるんですけども、「花巻市議会の提言への対応」ということで、建設用地は市有地にすること、つまり市が所有する、あるいは買うことっていうことですね、こういう提言。

もう1つは、複合施設じゃなくて単独にしてください、カフェみたいなのがいいですよってというような、飲食コーナーがいいですってというふうなご意見があったと。それを踏まえて、現在の計画では図書館はまず単体図書館です。

ただ、その飲食コーナー、カフェのスペースは、今の計画には盛り込んでいるという段階でありますので、そこはご理解をいただきたいというふうに思います。

つまり、要するに、図書館と一緒に何か複合施設っていうのは、ちょっと今考えてないですってということなんです。

(○坂本会長)

紫波みたいな、物販なんかのところはないよっていうことですね。

(○高橋委員)

すいません。図書館として建てる。で、今パブリックコメントで色々ご意見いただいて、それを盛り込もうとしてるのは、図書館の中の施設ではあるけど、図書館としてはカフェだけだよと。

(○市川新花巻図書館計画室主任専門員)

そうです。今の計画の中ではカフェがくっついてる図書館ぐらいかなっていうことです。

(○菅野生涯学習部長)

単独とすることを基本としてという提言をいただいているので、その中で、カフェスペースはいいという話もあったので、それを計画している。

(○坂本会長)

今変わってるかもしれないね。

(○高橋委員)

そしたらもう1個だけ教えてください。基本計画の41ページのこのイメージ図って
いうのは、今のお話につながるものとして理解して良いですか？

(○高橋新花巻図書館計画室次長)

こちらの図面、私の方から説明させていただきます。

これ、基本計画の方で記載させていただいてるサービスをどういうふうに組み合わせ
せるかっていうようなイメージ図になります。

例えば、こういうサービスとこういうサービスを組み合わせたらここがいいんじゃない
かっていうことで、これもコンサルタントの方をお願いして、こういう建物にな
る、元のような、こことこの施設が一緒にあればいいよみたいなイメージ図とご理
解いただければなっていうふうに思います

(○市川新花巻図書館計画室主任専門員)

例えば、地域学習スペースと作業スペースは近い方がいいとか、こことここは近い
方がいい、離れててもいいというようなイメージです。このサービスのですね。

(○高橋委員)

はい。ありがとうございます。図書館のイメージということですね。

(○高橋新花巻図書館計画室次長)

そうです。図書館内部のイメージ図となります。

(○坂本会長)

はい、ありがとうございます。内村さん、いかがですか。

(○内村委員)

感想です。今日の会議で、今までの経緯というか、そういうのがわかって、とても
いい会議だったなと思っていました。

で、よくここまで長いこと、地道に人で市民の皆さんの考えをこう入れるように努
力してくださって、すごいなと、その努力も今日ほんの少しですけど理解できまし

た。ただ早くつくればいいのに、本当にご苦労様でした。これからもどうぞよろしく
お願いします。

(○坂本会長)

ありがとうございました。熊谷委員さん。

(○熊谷委員)

市川さんのお話を聞いて、そういうことがあった、そういうことがあったって
う、その歴史ですよ。本当に長いこと、この図書館のことについて関わってたんだ
なということを感じました。で、もう本当に発車してもいいのではないかなと。全て
私たちが話をしていることを一生懸命こう盛り込んで、盛り込んで、こんなに色々と
聞いてくれるような会議っていうのは、私、あまりないのではないかなと思います。
本当に感謝です。ですから、発車しましょう。ということで、白岩委員さん大丈夫で
すよね。ごめんなさいね、私ね、よく理解できなかったのです。いろんなところ、盛
り込まれているものに対してお話してるのが。ごめんなさい、私の知能ではついてい
けませんでした。

すいません。感想です。

(○坂本会長)

はい。菅原委員さん。

(○菅原委員)

市川さんがこうやって元気で頑張っていただけてますが、開館の時も元気でいらっ
しゃっていただければいいなという感想です。

(○市川新花巻図書館計画室主任専門員)

ありがとうございます。

(○坂本会長)

はい、白岩委員さん。

(○白岩委員)

私、ちょっと別の話で、花巻の史談会という歴史研究してる会でこの前役員になっ
たんですけど、市川さんも会員だと。ぜひ図書館の今までの経緯を、いわゆる近現代

史を扱おうという、今までは結構江戸時代とか古いのばかり。近現代史のやつは、ぜひ市川さんに、今までの図書館建設までのいろんな苦労話とか経緯を残していただきたいなという感じです。

私も今ちょっとそれは、今、花巻市史編纂会議やってて、市史編纂始まってるんですが、近現代史ができたのが10年後ぐらいなんですよ。で、史談会でも近現代史、平成とか昭和をどこで作ろうという話もあって、先日、平成の初めのまなび学園とか連合計画とかを調べたんですが、文献がないんですよ。で、例えばまなび学園に行っても、元々その経緯とか、リレーみたいなのがないって言われてですね。

そうすると、長年経つと職員の意識も変わって薄れてくるんじゃないかなと思って。で、それは今みたいに図書館に関していろんな質問、わかんないことは市川さんが全部説明できればいいんだけど、大変じゃないですか。で、だから、市民と職員が同じ意識で、図書館を同じ意識で向かってずっと、長い間共有できるようにするために、先ほども言ったように、結局、記憶で薄れちゃうので、わかりやすく、市民の方がわかりやすく。内容はいいと思います、全然。ただそれは分かりやすく、なるべく短い文章で、キャッチフレーズじゃないけど、そういうのでまとめたやつを作ってほしいなと。そうするとずっと記憶に残るから、どんどん職員さんも変わっていきますよね。図書館も。そうすると最初の理念というか、やる気がだんだんずれてくる可能性もあるんで、そういう残してほしいなと。わかりやすい形で。そういうふう。わかりやすく、市で共有できるようなふうに作っていただきたいなと思います。以上です。

(○坂本会長)

はい、ありがとうございます。図書館がもうできて、図書館誌が作られること、もう未来のこと、白岩さんは、話してくださいました。ありがとうございます。みんなの願いは早くできることです。どうぞよろしくお願いします。

(○市川新花巻図書館計画室主任専門員)

はい、ありがとうございます。

(○坂本会長)

それでは、事務局にお返してよろしいでしょうか。その他については。

4 その他

(○高橋副館長)

はい。坂本会長、議事進行の方、ありがとうございました。

それでは、次第の方の4番、その他ということで、今日の議題ではなく、花巻市立図書館に関するその他何か皆様からご意見とかあれば。よろしいでしょうか？はい、白岩委員。

(○白岩委員)

今日説明を受けたんですけど、今後はもう新花巻図書館に関しての議題に上がって話し合うことはないということですかね。

(○市川新花巻図書館計画室主任専門員)

今後、当然、どのようにスタートしてどのように進んでいくかっていうのは図書館協議会委員の皆様にも状況はお知らせしていきたいと思っております。計画できたからもうおしまいということではなくて、図書館協議会の皆様には新しい図書館においても運営について協議していただく形になりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(○坂本会長)

はい、よろしいですか。はい。

5 閉会（高橋花巻図書館副館長）

他にはよろしいでしょうか。はい。それではですね、本当に長時間にわたりご意見、ご協議の方ありがとうございました。以上をもちまして令和7年度花巻市立図書館協議会の臨時会の方を終了させていただきたいと思います。お疲れ様でした。